



北見工業大学

ドイツ語語学研修 2012年8月

報告書

目次

実施報告書.....	1
参加学生の声	5
日程表	8
写真	9
プログラムまとめ	13
参加者呼びかけポスター ..	14

2012年10月10日

ドイツ語語学研修(2012年8月9日～31日実施)報告書

北見工業大学国際交流センター長
准教授 許斐 ナタリー

1. 「フライブルク大学における日本人学生のためのサマープログラム – ドイツ語とドイツ文化 –」の紹介

フライブルク市・フライブルク大学紹介

フライブルク市は南ドイツの黒い森の中央に位置する、美しい自然に恵まれた、とても安全な町として知られています。またスイスとフランスに近く、いわゆる「三ヶ国の国境地域」として有名なところ です。

その町にあるフライブルク大学は1457年に創立され、ドイツだけでなく、ヨーロッパの中でも長い歴史と伝統のある大学の一つです。研究分野は、人文・社会科学や自然科学、医学などの分野の他に、1995年以来、情報工学研究所やマイクロシステム技術研究所でも研究者が育成されています。17%の外国人学生を含む2万1千人の学生がおり、そのためフライブルク市は大学の街と理解されています。フライブルク大学は2007年に、9校のエリート大学の一つとして、いわゆる「エクセレント・ユニバーシティー」に選抜されました。それは豊かな研究・教育活動ゆえにドイツのトップ大学として認められたことを意味しています。

日本人学生向けのドイツ語サマープログラムは特別プログラムとして、日本とドイツの大学をこれまで結びつけてきた長い伝統に基づき、日本人学生のニーズに合うように構成されています。このプログラムでは、相応の資格と有し、経験の豊かな教員による少人数クラスで集中的にドイツ語の授業がおこなわれ、さらに、ドイツの政治や歴史、教育制度、環境、経済についての講義や、フライブルク市と黒い森の周辺、スイスとフランスへの見学ツアーとミュンヘンへの週末旅行が実施されました。また、宿泊はフライブルク大学の学生寮が提供されました。このプログラムはドイツ語初心者を対象に、日本人・ドイツ人双方のスタッフによる毎日の生活に対するサポートが用意されています。

公式行事日程

サマープログラムでは総計 64 コマのドイツ語授業が実施されました。公式行事日程は以下の通りです。

- 8 月 10 日(金) 到着、入寮
- 8 月 11 日(土) フライブルク大学事務室からの挨拶、説明会、歓迎会
- 8 月 12 日(日) フライブルク市案内(電車の使い方等)
- 8 月 13 日(月) 授業開始
- 8 月 24 日(金) 修了テスト
- 8 月 28 日(火) サマープログラム修了証授与
修了式、全クラスによる出し物、お別れパーティ
- 8 月 29 日(水) 退寮、ホームステイ体験
- 8 月 30 日(木) ドイツ出発
- 8 月 31 日(金) 帰国

ドイツ語授業および講義

サマープログラムはドイツ語授業とドイツ文化についての講義で構成されています。ドイツ語授業構成は 1 コマ 45 分となっており、一日に 4 コマ授業が行われます。月曜日から金曜日までの授業時間は朝 9 時から午後 12:30 時までです。ドイツ語講師はドイツ語を教える資格(DaF)を持ち、大学語学研究所、市民学校、ゲーテ・インスティトゥート、独日学院での長期にわたる教育経験を有しています。その他には、毎週 2 日、午後に、ドイツ生活と文化についての講義およびディスカッションが日本語で行われます。講義は 90 分です。講義のテーマは以下の通りです。

ドイツ文化の一面であるビール
ドイツ映画の歴史
ドイツの歴史における民主主義
ドイツの経済
フライブルクにおける環境政策
ドイツにおける学生生活

レクリエーション・週末日帰り旅行

ドイツ語授業とドイツ文化についての講義以外、フライブルク大学の日本人・ドイツ人スタッフや学生によるレクリエーションプログラムが開催されます。午後の時間帯に、フライブルク周辺の様々なところへの見学ツアーが行われます。行き先はフライブルク大聖堂のパイプオルガンコンサート、農家レストラン、黒い森、フライブルク美術館、フライブルク市場、ビール工場見学、エメンディンゲンワイン祭りの試飲、バーゼル(スイス)とコルマー(フランス)、フライブルク周辺での「きつね狩り」ゲームなどです。週末旅行の場所はミュンヘン、ボーデン湖、シュトラスブール(フランス)、チューリッヒ(スイス)です。

2. フライブルク大学サマーコースにおける北見工業大学の学生の活動

クラス分けテストの結果とクラス分け

今年のドイツ語サマープログラムに参加した工大生は7名です。

機械・社会環境系1年生2名

情報電気エレクトロニクス系1年生1名

バイオ環境化学科2年生1名、3年生2名

社会環境工学科4年生1名

ドイツ語学習歴なしの学生は3名(1年生)、第二外国語としてドイツ語学習歴1年以下の学生は4名。今回の海外滞在は、一人の学生以外の6人の学生にとっては初めての海外体験でした。

フライブルク大学におけるサマープログラムでは、初心者のクラス(Jクラス)から一番レベルの高いクラス(Aクラス)までのクラス分けが行われました。

FクラスからJクラスを担当する教員は日本語を話せますが、AからEクラスの担当教員は日本語ができない教員となります。

今回のクラス分けで工大生3名がJクラス、1名がIクラス、1名がFクラス、1名がDクラス、1名がCクラスとなりました。学生全員がドイツ語に対する知識や運用能力を深めることができました。

コース終了後の学習効果

ドイツ語勉強の上達を確認するために、帰国後クラス分けテストと同じものをもう一度受験させました。最初のクラス分けテストと比較すると、学生全員はドイツにいる間に、ドイツ語を勉強し、毎日のドイツ語環境の中でドイツ語を自由に使用し、効果的なドイツ語学習を行ったことがわかります。

3. サマーコース参加の意義と今後の予定

フライブルク大学サマーコースへの参加することの意義

北見工業大学の学生は、今年二回目フライブルク大学の日本人学生向けのドイツ語サマープログラムに参加しました。ドイツ語を学んでいる学生、そして環境について興味を持っている学生、または、海外を経験したい学生にとっては、3週間フライブルク大学に留学することは非常に良い経験だと思います。それは、ドイツ語の勉強と平行してドイツとヨーロッパについての知識を深めることができる上に、学生がドイツ人学生および日本全国の学生との交流を活発に行うことができるためです。

フライブルク大学と北見工業大学の交流関係についての展望

サマープログラムの最後に、フライブルク大学インターナショナルオフィスのアジア地区担当者、クリスティアン・ティシャー氏と、北見工業大学とフライブルク大学の協定方法および今後のサマープログラムへの参加予定について相談しました。毎年7名～10名の工大生がドイツ語サマープログラムに参加できるように、フライブルク大学と北見工業大学の交流を推進することになりました。また、今後それが全学協定につながるように、協力することになりました。フライブルク大学と長期間に渡り交流関係を締結することは、北見工業大学および学生にとって非常に大きなメリットになると思います。また、将来的にも多くの学生にフライブルク大学ドイツ語サマープログラムへの参加を推薦したいと考えています。

参加学生の名簿

- ① 朝倉裕二（機械・社会環境系 1年）
- ② 石田伸彦（情報電気エレクトロニクス系 1年）
- ③ 川村稜（バイオ環境化学科 3年）
- ④ 猶原有希子（機械・社会環境系 1年）
- ⑤ 竹田誠也（社会環境工学科 4年）
- ⑥ 松田考平（バイオ環境化学科 2年）
- ⑦ 渡部大気（バイオ環境化学科 3年）

参加学生の声

機械・社会環境系 1年

朝倉 裕二

今回私たちは4年生1人、3年生2人、2年生1人、1年生3人そして許斐ナタリー先生の8人で8月9日～8月30日まで語学研修でドイツのフライブルクに行ってきました。フライブルクでの生活はとても充実したものでした。午前中は自分のレベルにあったクラスごとに分かれて授業を受けます。様々な工夫がされていてとてもわかりやすく面白い授業でした。今回の旅行が自分にとって初めての海外旅行で不安もありましたが、先生がついてきてくれるということもあり、わからないこともすぐ教えてもらえてとても楽しくすごせました。ドイツの人たちもとても優しく自分のカタコトの英語をがんばって理解してくれました。テレビやニュースなどでしか知らなかったドイツの文化や歴史にも直接ふれることができ、とても有意義な夏休みを過ごすことができました。

情報電気エレクトロニクス系 1年

石田 伸彦

私は今回のドイツ語学研修が初めての海外だったので不安でしたが、現地での生活に大きな期待をふくらませドイツへ向かいました。現地での生活はとても新鮮で驚きの連続でした。向こうの大学の授業では一切日本語を使わず、ドイツ語と英語だけだったので苦労はしましたが、そのおかげで少し敬遠していた外国語に対する認識が改められ、身近な存在に感じることができました。授業では簡単な会話と、ある程度の語彙力しか身につけられませんでした。それによって更に自分自身でもっとドイツ語を学びたいと強く思えたのもこの語学研修のおかげだと思います。午前で授業が終わると、午後にはレクレーションや各自で自由行動の時間がありました。レクレーションでは現地の方々と交流したり観光地を一緒に行ったりなどして、ドイツの文化を学ぶなど様々な貴重な体験をすることができました。この語学研修で海外へより強く関心を持つことができ、この経験を自分の糧とし、更にもっと多くの文化などに触れていきたいと思いました。

バイオ環境化学科 3年

川村 稜

私は、今回ドイツのフライブルク大学で3週間の語学研修に参加しました。内容として、平日は午前中にドイツ語の授業を受け、午後は、レクリエーションプログラムにより、ドイツ人の人

や同じ語学研修に来た人とスポーツをしたり、ドイツの動物園に行ったりと、日本とドイツとの文化の違いをはだで感じることができました。週末は、スイスのチューリッヒに行ったり、ミュンヘンに行ったりと、新たな刺激になりました。

私は工大で中国語を選考していたので、ドイツ語を学んだことがありませんでした。自分にとってふれたことのない言葉を使う国に行くことに少し不安もありました。しかし、ゼロからのスタートなので、恥ずかしさより、学ぶ意識を高く持つことができました。3週間という期間では、簡単な会話を身につけることしかできませんでしたが、それでも、実際にレストランやショップでドイツ語を使い、それが通じるという喜びを感じました。

海外に3週間という長い期間滞在するという経験はとても貴重で、コミュニケーションの力も上がり、これからの人生に役立つものを吸収できました。

機械・社会環境系 1年

猶原 有希子

私が JSP に参加したきっかけは、高校時代のマレーシアへの渡航経験でした。日本とは全く違う環境で、ぎこちない英語しか話せず、言葉の壁を感じ、もっと異文化の中に暮らす人と話したいと強く思い、また、文化そのものに感動し、もっと知らない世界を自分で見たい、と参加を決意しました。

ドイツでは、ネイティブの先生と対話式の授業や、ドイツ経済・環境問題に関する講義を受けたり、ドイツ文化にふれるレクに参加したりと、非常に充実した日々を過ごせました。苦労もありましたが、感心と感動の連続で、改めて外国語習得への意欲が湧きました。また、将来関わりたい分野についてもたいへん勉強になり、自分の進路の参考になりました。

社会環境工学科 4年

竹田 誠也

私は、ドイツのフライブルクでの語学研修に参加しました。学生7名、先生1名の計8名で参加し、期間は8月9日から8月30日までの約3週間でした。午前中にドイツ語の授業を受け、午後からはフライブルク大学が用意したレクリエーションプログラムに参加したり、観光や買い物に行ったりして過ごしました。ドイツ語の授業は、1クラス約15名で、座学だけではなく、生徒たちで街へ出かけ、様々なお店へ行き、ドイツ語を使って質問したりする課外授業なども行われました。今回の研修では、目的の1つであった1人での観光にもチャレンジしました。週末は学校が休みで自由だったので、週末を利用してベルリンやパリなどへ行ってきました。海外で1人で行動するのは不安でいっぱいでしたが、特にトラブルに遭遇することもなく、楽しい観光をすることができました。普段は経験することができないことをたくさんでき、とてもためになる研修でした。

バイオ環境化学科 2年

松田 考平

私は8月9日から8月29日までドイツで語学研修をしてきました。

海外に行くのが初めてであった私にとって、ちゃんとドイツ語の授業になじめるかが心配でしたが、ドイツ語で説明が難しい箇所は先生が英語で教えてくれ、なんとかついていくことができました。また、課外授業でその日教わったドイツ語を用いて、アイスやケーキを食べに行ったりしたので、生きたドイツ語を使う機会がとても多く授業以外で何か買ったりする際とても役に立ちました。

また、放課後にワインフェスタやパイプオルガンのコンサートに行けるレクリエーションや週末に週末日帰り旅行という企画があり、ボーデン湖やノイシュバンシュタイン城などドイツに残る大自然や歴史的遺産を見ることもでき、とても充実した二十日間でした。

バイオ環境化学科 3年

渡部 大気

今回、このドイツ語学研修に参加し、三週間と短い期間でしたが、多くのことを経験することができました。

初めての海外ということもあり不安でいっぱいでしたが、行ってみると同じように語学を学びに来ている日本人の学生が周りを知り、安心しました。語学の授業は、実際にドイツ人の先生と会話したり、質問に答えたりというものでした。また、レクリエーションによって他の学生と交流できたり、様々なところに行くことができたりなど、授業以外にもたくさんの経験をすることができました。

このドイツにいた三週間は、いままでの中で最も充実した三週間でした。日本にいたら絶対にできないことを経験、体験することができ、多くの学生とも友達になることができました。そして、自分の考え方や感じ方、ものの見方も大きく変化しました。この経験は自分の将来や、今後の選択にぜひ役に立つものだし、自分の大きな味方になってくれると思います。

ドイツ語語学研修2012年

日程

オリエンテーション

5月29日	第1回	概要説明、申し込み準備
6月5日	第2回	安全、保険、お金、持っていくものについて
6月12日	第3回	ドイツ語会話 第1課 - 挨拶、自己紹介、支払い
6月19日	第4回	ドイツ語会話 第2課 - お礼、数字
6月26日	第5回	ドイツ語会話 第3課 - 注文、お買い物
7月3日	第6回	ドイツ語会話 第4課 - 看板に書いてあるドイツ語
7月10日	第7回	クラス分けテスト
7月17日	第8回	最終連絡事項、諸注意

語学研修

8月9日	女満別出発(12:15)→ 関西空港泊 女満別空港にて11:15に集合 → 女満別空港行きバス 10:22発
8月10日	関西空港発、フランクフルト着 → フライブルクへ移動
8月11日～28日	語学研修
8月29日	フライブルク発、フランクフルト着(ホームステイ)
8月30日	フランクフルト発
8月31日	関西空港経由、女満別着(11:35)解散

帰国後

10月	事後ミーティング
-----	----------

11月まで提出するもの

- ・語学研修の報告書(ニュースレター用)
- ・KIT げんき会事業実施報告書

2012年11月27日(火)

- ・報告会に出席(総合工学にて報告)

2013年6月

- ・工大祭のときの KIT げんき会総会に30分程度出席(代表者1人)

写真



出発前関西空港にて



フライブルク市に到着



ドイツ語授業クラスの雰囲気



寮の近くの公園でドイツ語の宿題をやっている雰囲気



黒い森の一番大きい湖で有名な Schluchsee の前



パリへ1人旅した竹田さん



Dクラスの修了式のときの発表会



フライブルク大学の「卒業生」

2012年度 夏期語学研修 (ドイツ フライブルク)

対象： 学部生、大学院生

派遣先大学名 Albert-Ludwigs Universität Freiburg (アルバート・ルートヴィヒ大学フライブルク)

特色： フライブルク大学は2007年より、ドイツ国内9校の「エクセレント大学」の一大学に数えられています。1457年に創立され、ヨーロッパの中でも最も歴史ある大学の一つです。長い歴史を持つこの総合大学は、特に卓越した研究・教育分野でも特徴づけられており、人文・社会科学や自然科学、医学などの古典的分野の他に、1995年以来、情報工学研究所やマイクロシステム技術研究所でも技術科学者が育成されています。17%の外国人学生を含む2万1千人の学生は、フライブルクを大学の街、学生の街として印象付けています。

実施時期 8月9日(木)～8月31日(金) (旅行日を含む)

8月9日(木) 女満別発、関西空港着

8月10日(金) 関西空港発、フランクフルト空港着、電車でフライブルクへ移動

8月12日(日)～8月29日(水) 語学研修

8月29日(水) フライブルク発 電車フランクフルトへ移動

8月30日(木) フランクフルト空港発

8月31日(金) 関西空港経由 女満別着

『日本人学生のためのサマープログラム』

レベル別・ドイツ語コース 月～金、9時～12:30時、最大16名の少人数制クラス

特定の曜日の午後には、日本語によるドイツ関連の講義 (例:ドイツ入門、環境政策、など)

住居

学生寮の個室(シャワー、トイレ、キッチン共同)

費用(概算)

学費 € 550 (日帰り見学費用込み、レギオカルテ(フライブルク市内と黒い森やスイスのバーゼル等、近郊地域[約20キロ]への公共交通機関とドイツ鉄道の鈍行列車が利用できる定期券) 込み)

寮費 € 270

見学費用 ミュンヘン市・ノイシュヴァンシュタイン城2泊3日週末旅行 € 180 (参加自由)

€ 1=110円として

朝・昼・夕食代 € 160 (1日€8として)

小計 € 1,000 (=110,000円)

航空券(国内・国際線・ホテル一泊) 259,400円

電車 フランクフルト空港—フライブルク 往復10,000円 小計 269,400円

合計 379,400円

その他: お小遣い (40,000円～)

旅行保険 10,500円

パスポート取得費 (10年間のもの1万6千円、5年間のもの1万1千円)

課外見学

ミュンヘン市・ノイシュヴァンシュタイン城、フランスのアルザス地方・ストラスブール、スイスのチューリッヒ、スイスのラインの滝、サッカーブンデスリーガ観戦など

単位

学部生には「異文化理解」、大学院生には「国際理解」の2単位 (後期に登録)

研修までの流れ

申し込み締め切り: 5月10日(木)

以降、週1回のオリエンテーション

パスポートを6月上旬までに取得すること(2～3週間かかります)

ドイツ語研修(ドイツ)

夏休みにドイツで2単位取りませんか？



ドイツの「環境首都」と呼ばれるフライブルクのフライブルク大学に通い、ドイツ語を勉強しながら、同市とドイツの環境対策について学びます。ドイツ語を選択しなかったあなたも参加OK! フライブルク市内の見学や、サッカーブンデスリーガ観戦などのほか、週末はドイツ国内にとどまらず、日帰り旅行でなんとスイスのライン川の滝やフランスのストラスブール等の見学も。ヨーロッパ土地と文化に触れる一大チャンスです!!

期間：8月9日～9月1日（旅行日込み）

研修地：フライブルク大学（フライブルク）

費用：38万+お土産とお小遣い（大学から若干の補助金あり）